

一覧表② 気候変動の影響と適応策

分野① 農業・林業・水産業

分野	農業・林業・水産業	所管課	農林茶業課
大項目	農業		
小項目	水稻		
予測される影響	米の収量、品質の低下		
被害を最小限に低減するための適応策			
米の収量や品質への影響や対策について、関係機関との情報共有と農業者への情報提供を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
米の収量や品質への影響について、情報収集を行った。		米の収量や品質への影響等について、情報収集を行う。	

分野	農業・林業・水産業	所管課	農林茶業課
大項目	農業		
小項目	麦、大豆、飼料作物等		
予測される影響	茶の収量、品質の低下		
被害を最小限に低減するための適応策			
茶の収量や品質への影響や対策について、関係機関との情報共有と、農業者への情報提供を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
茶の収量や品質への影響等について、情報収集を行った。		茶の収量や品質への影響等について、情報収集を行う。	

分野② 水環境・水資源

分野	水環境・水資源	所管課	環境企画課
大項目	水環境		
小項目	河川		
予測される影響	水温の上昇、土砂生産量の増加、水質の悪化		
被害を最小限に低減するための適応策			
河川、木幡池の水質測定を行う。 (水質の調査・排出源の監視等)			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
河川、木幡池の水質測定を行った。 【実施数:中小河川 10 か所×年 4 回、支川 13 か所×年 2 回、自然水系 8 か所×年 1 回、木幡池 14 地点×年 1 回】		河川、木幡池、事業所排水の水質測定を行う。 【目標:測定値が環境基準内であること。】	

分野	水環境・水資源	所管課	下水道計画課
大項目	水環境		
小項目	河川		
予測される影響	水質の悪化		
被害を最小限に低減するための適応策			
公共下水道の管渠整備を促進する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
下水道整備率は 99.2%を目標としていたが、R6 年度末の実績は 99.1%であった。		下水道整備率を 99.3%とする。	

分野	水環境・水資源	所管課	下水道施設保全課
大項目	水環境		
小項目	河川		
予測される影響	水質の悪化		
被害を最小限に低減するための適応策			
公共下水道(汚水)の整備事業を実施する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
公共下水道(汚水)の整備計画とおり、事業を実施した。		整備計画に基づき、事業を実施することにより、衛生的な生活環境を保全する。	

分野	水環境・水資源	所管課	水管理センター
大項目	水資源		
小項目	水供給(地表水)		
予測される影響	宇治浄水場の水源である宇治川伏流水の水量減少		
被害を最小限に低減するための適応策			
伏流水以外の水源(地下水)の利用を増やす。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
地下水利用による取水量の安定化を図った。		伏流水と地下水のバランスを保ちつつ、取水量全体の安定化を図る。	

分野③ 自然生態系

分野	自然生態系	所管課	資産活用推進課
大項目	陸域生態系		
小項目	自然林・二次林		
予測される影響	山間部の高温化、森林の枯れ等		
被害を最小限に低減するための適応策			
市有林の健全な状態を保つため、森林組合に事業委託し、間伐等による整備を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
市有林の健全な状態を保つため、森林組合に事業委託し、間伐等による整備を行った。		市有林の健全な状態を保つため、森林組合に事業委託し、間伐等による整備を行う。	

分野	自然生態系	所管課	農林茶業課
大項目	陸域生態系		
小項目	自然林・二次林		
予測される影響	山間部の高温化、森林の枯れ等		
被害を最小限に低減するための適応策			
山林の健全な状態を保つため、適正な整備や保全について周知・案内に努める。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
山林の健全な状態を保つため、適正な整備や保全について周知・案内に努めた。		山林の健全な状態を保つため、適正な整備や保全について周知啓発を行う。	

分野	自然生態系	所管課	農林茶業課
大項目	陸域生態系		
小項目	野生鳥獣による影響		
予測される影響	生息環境の変化によるイノシシ、シカの分布拡大、農林業への被害の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
捕獲及び防除による被害防止対策を実施する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
猟友会に有害鳥獣捕獲事業を委託し、シカ 63 頭、イノシシ 18 頭の捕獲を行った。		猟友会と連携し、有害鳥獣捕獲事業を実施する。	

分野	自然生態系	所管課	環境企画課
大項目	その他		
小項目	分布・個体群の変動／外来種		
予測される影響	外来生物の定着・分布拡大		
被害を最小限に低減するための適応策			
発見時に適切な対応ができるよう、外来生物に関する習性等について、国・京都府と情報を共有する。また、ホームページ等を通じて市民への情報発信を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
クビアカツヤカミキリ等の外来生物について、ホームページを通じて市民への情報発信を行った。		国・京都府と情報共有を行い、ホームページを通じて市民への情報発信を行う。	

分野④ 自然災害・沿岸域

分野	自然災害・沿岸域	所管課	危機管理室
大項目	河川		
小項目	洪水		
予測される影響	大雨による洪水が現実が発生する。台風の大規模化		
被害を最小限に低減するための適応策			
災害への備えや心構え、自助・共助の必要性などを説明する防災出前講座を地域に出向いて行う。気候変動が災害に影響していることや 命を優先した避難方法を情報発信する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
災害への備えや心構え、自助・共助の必要性などを説明する講座を地域に出向いて行った。【実施回数:109 回】		若年層を含め、多世代に向けた働きかけの強化が課題である。依頼に応じて防災出前講座を実施する。	

分野	自然災害・沿岸域	所管課	危機管理室
大項目	河川		
小項目	洪水		
予測される影響	大雨による洪水が現実が発生する。台風の大型化		
被害を最小限に低減するための適応策			
京都大学防災研究所の協力を得て、気候変動が災害に与える影響を説明するとともに、防災意識を醸成するシンポジウムを実施する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
京都大学防災研究所の協力を得て、気候変動が災害に与える影響を説明するとともに、防災意識を醸成するシンポジウムを実施した。【実施回数:1 回】		気候変動が災害に与える影響を説明するとともに、防災意識を醸成するシンポジウムを実施する。【実施回数:1 回】	

分野	自然災害・沿岸域	所管課	消防総務課
大項目	河川		
小項目	洪水		
予測される影響	大雨による浸水被害の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
水害時に対応するための装備や資機材の整備、消防団員と連携した水害対応訓練を実施する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
災害時における消防団員間の連絡体制確立のための資機材等を(トランシーバー)整備した。		高齢化、サラリーマン化といった社会情勢を背景とした消防団員の担い手不足解消に向けた取組を行う。 近年の災害や消防団の活動内容に応じた資機材の研究と整備を行う。	

分野	自然災害・沿岸域	所管課	警防救急課
大項目	河川		
小項目	洪水		
予測される影響	大雨による浸水被害の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
水害時に対応するための装備や資機材の整備、消防団員と連携した水害対応訓練を実施する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
消防職員・団員、近隣市町や関係機関と連携した水防対応訓練を実施した。		消防職員・団員、近隣市町や関係機関と連携した水防対応訓練を実施する。	

分野	自然災害・沿岸域	所管課	危機管理室
大項目	河川		
小項目	内水		
予測される影響	大雨による洪水が現実には発生する。台風の大型化		
被害を最小限に低減するための適応策			
ハザードマップにより、どの地域にどのような災害リスクがあるか等の周知啓発を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
ハザードマップを R7 年に全世帯配布するための準備を行った。		R9 年に全世帯配布するまでの間に内水氾濫区域図の完成や防災気象情報の見直しが予定されていることから、ハザードマップの更新内容について出前講座等での説明が必要になる。	

分野	自然災害・沿岸域	所管課	環境企画課
大項目	河川		
小項目	内水		
予測される影響	異常気象による大雨・台風の増加、浸水被害の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
衛生班として家屋等の消毒にあたるため、災害発生時に適切な初動を行えるよう、薬剤や機材の使用手法や管理について所属内に周知した。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
災害時に使用する機器の操作手法について周知した。		薬剤や機材の使用手法や管理について所属内に周知する。	

分野	自然災害・沿岸域	所管課	維持課
大項目	河川		
小項目	内水		
予測される影響	大雨による浸水被害の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
道路整備の際は、可能な限り透水性舗装を採用するなど雨水の地下浸透を促進する。浸水被害を防止するため、河川・排水路の改修・適正管理に努める。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
道路整備の際には透水性舗装を採用するなど雨水の地下浸透を促進した。また、浸水被害を防止するため、河川・排水路の改修・適正管理に努めた。		必要に応じて適宜、河川・排水路の改修・適正管理を行う。	

分野	自然災害・沿岸域	所管課	治水対策課
大項目	河川		
小項目	内水		
予測される影響	大雨による浸水被害の増加、水害被害額の倍増、浸水の長期化		
被害を最小限に低減するための適応策			
浸水被害を軽減するため、雨水貯留施設の整備、排水路の改修を行う。(公共下水道雨水施設整備事業)			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
浸水被害を軽減するため、排水路の改修を実施し、雨水貯留施設は継続して実施している 2 か所に加えて、新たに 1 か所工事に着手した。		3 か所の雨水貯留施設の早期完成に向けて、引き続き整備に取り組むとともに、排水路の改修を行う。	

分野	自然災害・沿岸域	所管課	警防救急課
大項目	山地		
小項目	土砂流・地すべり等		
予測される影響	土砂災害の発生、災害の大規模化		
被害を最小限に低減するための適応策			
近隣消防相互応援協定、緊急消防援助隊など大規模災害に対応した受援体制を確立する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
大規模災害に備えた 119 番通報集中時の情報処理体制、消防広域連携に対応した受援体制の確立に取り組んだ。		大規模災害に備えた 119 番通報集中時の情報処理体制、消防広域連携に対応した受援体制の確立に取り組む。	

分野⑤ 健康

分野	健康	所管課	秘書広報課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	熱中症搬送者数・死亡者数の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症特別警戒アラート発表時にホームページ及び LINE による周知を行う。【市 LINE 登録者全員へ配信】			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
熱中症特別警戒アラート発表時に FM うじやホームページ及び LINE により周知することができるよう体制を構築した。R6 年度は熱中症特別警戒アラートの発表が無かったため周知は行っていない。		熱中症特別警戒アラートが発表された際には、ホームページ及び LINE により、市民に周知する。	

分野	健康	所管課	職員厚生課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	暑熱による身体へのリスクの増加、職員の熱中症		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症予防に関する情報の周知、予防のための被服の貸与（ファン付きベストなど）。熱中症発生時の報告体制及び熱中症症状の悪化を防止するための実施手順を整備し関係作業者へ周知する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
健康相談室だよりを発行し、熱中症予防についての情報を周知啓発した。また、労働安全衛生委員会において、空調服の貸与を試行実施した。		熱中症発症を予防するため、健康相談室だよりの発行や 6 月～9 月の間は庁内放送で注意喚起する。また、熱中症発生時の報告体制及び熱中症症状の悪化を防止するための実施手順を整備し、職員に周知するとともに公用車にリーフレット等を常置する。	

分野	健康	所管課	文化スポーツ課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	暑熱による身体へのリスクの増加、スポーツ大会での熱中症の発生		
被害を最小限に低減するための適応策			
スポーツ大会における熱中症の開催基準の遵守、熱中症予防に関する周知、啓発。熱中症発生時の対応(水分補給用の飲料水の常備、緊急時連絡先の整理・確認・関係機関との連携)			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
宇治市スポーツ協会を通じて夏場の大会等における熱中症予防についての啓発等を行った。また、巨椋ふれあい運動ひろばの利用者に対して指定管理者を通じ注意喚起を行った。		熱中症予防に関する周知や対応を検討する。	

分野	健康	所管課	環境企画課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	熱中症搬送者数・死亡者数の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症特別警戒アラートが発表された際に危険な暑さから避難するため開放する施設として、クーリングシェルターを指定する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
クーリングシェルターとして 17 施設を指定した。R6 年度は熱中症特別警戒アラートの発表が無かったため、施設の開放は行っていない。		クーリングシェルターを指定する。	

分野	健康	所管課	環境企画課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	熱中症搬送者数・死亡者数の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
夏季の熱中症予防対策及び省エネの取組として、市内の公共施設や民間協力施設において、誰もが安全に涼しく過ごせる空間としてクールスポットを設置する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
市内公共施設及び民間協力施設にクールスポットを設置した。【協力施設数:市公共施設 25 か所、民間施設 2 か所】		市内公共施設及び民間協力施設にクールスポットを設置する。また、ホームページ等を通じて新たなクールスポット協力施設を募る。【目標 協力施設数:29 か所】	

分野	健康	所管課	環境企画課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	熱中症搬送者数・死亡者数の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症特別警戒アラートの発表時に、FM うじのスポット放送を行い、市民に周知する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
新たに、熱中症特別警戒アラート発表時の FM うじスポット放送により周知することができるよう体制構築したが、R6 年度は熱中症特別警戒アラートの発表がなかったため周知は行っていない。		熱中症特別警戒・警戒アラート発表時は FM うじにスポット放送を依頼する。また、熱中症特別警戒・警戒アラート発表時はホームページへの掲載を行う。	

分野	健康	所管課	環境企画課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	熱中症搬送者数・死亡者数の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症警戒アラート発表時に FM うじでのスポット放送やホームページの掲載を行い、市民に周知を図る。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
熱中症警戒アラート発表時に FM うじでのスポット放送やホームページ掲載により、市民に熱中症予防を呼びかけた。【ホームページ更新 1 回/日】		熱中症警戒アラート発表時に FM うじのスポット放送や市ホームページへの掲載を行う。【ホームページ掲載／アラート発表時】	

分野	健康	所管課	まち美化推進課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	夏季の気温上昇による、作業員の熱中症		
被害を最小限に低減するための適応策			
こまめな水分等の補給を推奨し、熱中症対策物品を活用する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
空調服の導入に向けた試行・検証を行った。		空調服を本格導入する。 熱中症の症状が発生した場合は迅速な対応を行う。	

分野	健康	所管課	障害福祉課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	障害者福祉施設における熱中症の発症		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症特別警戒情報が発表された場合、市内の障害者福祉施設に情報提供を行い、予防のための対応につなげる。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
熱中症特別警戒情報が発表されなかったため、障害者福祉施設等への情報提供は行っていない。		熱中症特別警戒情報が発表された場合は、メールにて障害者福祉施設等へ情報提供を行う。	

分野	健康	所管課	こども福祉課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	放課後児童健全育成事業における熱中症の発生リスクの増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症対策に関する周知、熱中症発生時の対応を行う。(水分補給用の飲料水の常備、緊急時連絡先の整理・確認・関係機関との連携)			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
各育成学級において温湿計を使用した屋外活動実施可否を判断した。また、空調室外機カバーの設置や経口補水液の配付を行った。さらには、熱中症特別警戒アラート発表時の対応を決定し周知した。		全育成学級を対象とする外遊び実施判断基準の作成・周知、遮光カーテン等の設置、屋外で勤務する安全対策支援員の熱中症対策、小学校電気設備年次点検(停電)に伴う熱中症対策を行う。	

分野	健康	所管課	介護保険課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	介護保険事業所等における熱中症の発症		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症特別警戒アラートが発表された場合、市内の介護保険事業所・施設に情報提供を行い、予防のための対応につなげる。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
熱中症特別警戒情報が発表されなかったため、介護サービス事業所への情報提供は行っていない。		熱中症特別警戒アラートが発表された場合、市内の介護保険事業所・施設に情報提供を行い、予防のための対応につなげる。	

分野	健康	所管課	教育総務課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	夏季の気温上昇による、小中学校・幼稚園職員(教職員・用務員・給食調理員等)の熱中症		
被害を最小限に低減するための適応策			
こまめな水分等の補給を推奨し、業務を実施する場所や時間を工夫する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
こまめな水分等の補給を推奨し、業務を実施する場所や時間を工夫した。		・熱中症事案発生時の連絡体制を確認し、周知する。 ・労働安全衛生委員会において、熱中症予防に関するチラシを作製し配布する。 ・小中学校及び幼稚園用務員に空調服を貸与する。	

分野	健康	所管課	学校管理課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	児童・生徒への健康被害(熱中症)		
被害を最小限に低減するための適応策			
「熱中症対策ガイドライン」に基づき、熱中症防止対策を講じるとともに、熱中症が発生した際にも適確に判断できるよう対応を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
各学校へガイドラインに基づいた対策を講じるよう周知した。		遮熱カーテン及び体育館空調を導入する。 【目標 カーテン設置学校数:10 校】 【目標 空調設置学校数:6 校】	

分野	健康	所管課	善法青少年センター
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	児童・生徒への健康被害(熱中症)		
被害を最小限に低減するための適応策			
「熱中症対策ガイドライン」に基づき、児童生徒等へ対応を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
「熱中症対策ガイドライン」に基づき、児童生徒等へ対応を行った。具体的には、運動を行う際には、こまめに水分・休憩をとる、体調不良を感じた時は速やかに職員へ申し出るように指導等を行った。		「熱中症対策ガイドライン」に基づき、児童生徒等へ対応を行う。具体的には、運動を行う際には、こまめに水分・休憩をとる、体調不良を感じた時は速やかに職員へ申し出るように指導等を行う。	

分野	健康	所管課	河原青少年センター
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	児童・生徒への健康被害(熱中症)		
被害を最小限に低減するための適応策			
「熱中症対策ガイドライン」に基づき、児童生徒等へ対応を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
「熱中症対策ガイドライン」に基づき、児童生徒等へ対応を行った。具体的には、運動を行う際には、こまめに水分・休憩をとる、体調不良を感じた時は速やかに職員へ申し出るように指導等を行った。		「熱中症対策ガイドライン」に基づき、児童生徒等へ対応を行う。具体的には、運動を行う際には、こまめに水分・休憩をとる、体調不良を感じた時は速やかに職員へ申し出るように指導等を行う。	

分野	健康	所管課	警防救急課
大項目	暑熱		
小項目	熱中症等		
予測される影響	熱中症搬送者数・死亡者数の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
熱中症防止のための広報、チラシ配布などの普及啓発を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
熱中症防止対策として、公式Instagram等を活用した広報やチラシ配布の普及啓発を行った。		熱中症搬送者数が増加傾向にあることが課題である。 市民への広報については、年代に応じた周知方法の検討を行い、発症を防止に努める。	

分野	健康	所管課	障害福祉課
大項目	感染症		
小項目	水系・食品媒介性感染症		
予測される影響	障害者福祉施設における食中毒の発生		
被害を最小限に低減するための適応策			
京都府が発令する食中毒注意報について、市内の障害者施設に情報提供を行い、予防のための対応につなげる。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
京都府から食中毒注意報が発令された際、メールにて市内障害者施設に周知した。		京都府から食中毒注意報が発令された際は、メールにて市内障害者施設に周知する。	

分野	健康	所管課	介護保険課
大項目	感染症		
小項目	水系・食品媒介性感染症		
予測される影響	介護保険事業所等における食中毒の発生		
被害を最小限に低減するための適応策			
京都府が発令する食中毒注意報について、市内の介護保険事業所・施設に情報提供を行い、予防のための対応につなげる。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
京都府から食中毒注意報が発令された際、メールにて市内介護サービス事業所に周知した。		京都府から食中毒注意報が発令された際は、メールにて市内介護保険事業所・施設に周知し、予防のための対応につなげる。	

分野	健康	所管課	まち美化推進課
大項目	感染症		
小項目	その他の感染症		
予測される影響	流行性ウイルス感染症による職場や家庭におけるクラスターの発生		
被害を最小限に低減するための適応策			
ワクチン接種などの日常での感染症対策を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
作業現場におけるクラスターの未然防止に努め、感染症対策を行った。		作業現場におけるクラスターの未然防止に努め、感染症対策を行う。	

分野	健康	所管課	環境企画課
大項目	その他		
小項目	脆弱性が高い集団への影響		
予測される影響	温暖化により大気中の光化学オキシダント濃度が上昇し、健康被害を及ぼすことが想定される。		
被害を最小限に低減するための適応策			
担当者会議などを通じ、京都府・保健所との連絡体制を定期的に確認する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
市内部の連絡体制を構築し、外部施設においても迅速に対応できるよう関係部署との情報共有を行った。		市内部の連絡体制を維持し、関係部署との情報共有を行う。	

分野	健康	所管課	保育支援課
大項目	その他		
小項目	脆弱性が高い集団への影響		
予測される影響	暑熱による身体へのリスクの増加、保育活動の制限等		
被害を最小限に低減するための適応策			
○熱中症等の予防や対処法についての情報提供する。(ほいくしょだより、保健だより、国からの通知文等)。 ○日本スポーツ協会による熱中症予防のための運動指針、熱中症予防行動への留意点を公立保育所へ周知する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
○国からの通知文、保健だより等により、熱中症等の予防や対処方法について情報提供した。 ○日本スポーツ協会による熱中症予防のための運動指針を公立保育所へ周知した。		○国からの通知文、保健だより等により、熱中症等の予防や対処方法について情報提供する。 ○日本スポーツ協会による熱中症予防のための運動指針を公立保育所へ周知する。	

分野	健康	所管課	保育支援課
大項目	その他		
小項目	脆弱性が高い集団への影響		
予測される影響	暑熱による身体へのリスクの増加、保育活動の制限等		
被害を最小限に低減するための適応策			
○暑さ指数 WBGT31℃以上の場合は、プールを除く運動は原則中止し、プールの入水時間は 15 分以内とする。			
○熱中症特別警戒アラート(暑さ指数 WBGT35℃以上)が発表された場合は運動・プールともに中止する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
○安全に外遊びやプール活動が実施できるように、公立保育所7園に暑さ指数計を配付した。		○熱中症特別警戒アラート発表時の対応を整理する。	
○暑さ指数 WBGT31℃以上の時は、プールを除く運動を中止し、プールの入水時間は 15 分以内とした。		○暑さ指数の計測は4月第4水曜日～10 月第4水曜日まで実施する。	
○熱中症特別警戒アラート発表時の対応を整理した。		○プール日誌に WBGT 記入欄を設け、クラス毎に計測する。	

分野⑥ 産業・経済活動

分野	産業・経済活動	所管課	資産活用推進課
大項目	産業・経済活動		
小項目	エネルギー供給		
予測される影響	災害による設備への被害・停電・冷房負荷の増加など		
被害を最小限に低減するための適応策			
設備の点検により故障リスクの低減に努め、非常用電源を確保する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
非常照明用の直流用電源装置の改修や空調の全熱交換機の整備を行った。また、設備の現況調査及び改修計画を策定し、計画的に設備の修繕を行うよう定めた。		庁舎ディーゼル発電機及びガスタービン発電機内の蓄電池の更新を行う予定である。また、計画的に設備の修繕に取り組む。	

分野	産業・経済活動	所管課	産業振興課
大項目	産業・経済活動		
小項目	エネルギー供給		
予測される影響	災害による設備への被害・停電・冷房負荷の増加など		
被害を最小限に低減するための適応策			
宇治 NEXT において、市内事業者に対して BCP 策定の伴走支援を行うため、実践的なセミナー・ワークショップ等を実施する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
宇治 NEXT において、市内事業者に対して BCP 策定の伴走支援を行うため、実践的なセミナー・ワークショップ等を実施し、BCP 策定に向けた個別相談や策定支援を行った。【セミナー・ワークショップ:3 回、参加社数:9 社、策定支援社数:2 社】		多くの企業の参加があったものの、実際の策定支援に至ったのは 2 社に留まった。前年度より多く策定支援につなげることを目指す。【目標 策定支援社数:5 社】	

分野	産業・経済活動	所管課	保育支援課
大項目	産業・経済活動		
小項目	エネルギー供給		
予測される影響	電力需要の増加による機器の負荷		
被害を最小限に低減するための適応策			
電気使用量の削減と施設・設備の省エネルギー化のため、蛍光灯を LED 照明に更新する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
小倉双葉園保育所、木幡保育所の 2 園において、園舎全ての照明を LED 照明へ更新した。		宇治保育所と西小倉保育所の 2 園において、園舎全ての照明を LED 照明へ更新する予定である。	

分野	産業・経済活動	所管課	観光振興課
大項目	観光業		
小項目	レジャー		
予測される影響	観光客の移動手段の減少		
被害を最小限に低減するための適応策			
公共交通機関利用の促進、エコでクリーンな小型モビリティの導入を検討する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
観光地内の移動手段として、グリーンスローモビリティの導入を検討した。		観光地内の移動手段として、グリーンスローモビリティの導入の検討を進める。	

分野	産業・経済活動	所管課	観光振興課
大項目	観光業		
小項目	レジャー		
予測される影響	災害時における観光客の避難		
被害を最小限に低減するための適応策			
災害時の観光客への避難場所の周知や誘導の方法、帰宅困難者支援など、安心・安全な観光地としてのと仕組みづくりを進める。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
-		有事の際に神社仏閣や商店街の協力を得るための計画や協定の策定を検討する。	

分野	産業・経済活動	所管課	建設総括室
大項目	建設業		
小項目			
予測される影響	建設現場での熱中症の増加		
被害を最小限に低減するための適応策			
本市が発注する工事(土木工事)においては、土木工事標準積算参考資料(土木工事)に準じて猛暑日日数を考慮した工期算定を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
猛暑日の日数を考慮した工期算定等について、工事発注課への周知徹底を行った。		R7 年度より導入した週休 2 日制工事を考慮しつつ、猛暑日の日数を考慮した工期算定等について、周知徹底を行う。	

分野⑦ 国民生活・都市生活

分野	国民生活・都市生活	所管課	水管理センター
大項目	都市インフラ・ライフライン等		
小項目	水道、交通等		
予測される影響	災害による上下水道施設への障害		
被害を最小限に低減するための適応策			
耐震化や浸水対策を強化する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
豪雨時は防水扉設置個所の防水施設を行った。		雨雲レーダーなどを活用し気象変化を察知するとともに事前対応に努める。	

分野	国民生活・都市生活	所管課	観光振興課
大項目	文化・歴史などを感じる暮らし		
小項目	伝統行事・地場産業等		
予測される影響	伝統ある宇治川の鵜飼、宇治川さくらまつりなどの花や紅葉、自然にふれる観光イベント開催日への影響		
被害を最小限に低減するための適応策			
伝統文化を継承しつつ、自然に適合した開催方法を検討する。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
宇治市観光協会と連携して、宇治さくらまつりや鵜飼の開催時期の検討を行った。		宇治市観光協会と連携して、気候に合わせたイベント等の開催方法を検討する。	

分野	国民生活・都市生活	所管課	健康づくり推進課
大項目	その他		
小項目	暑熱による生活への影響等		
予測される影響	暑熱による身体へのリスクの増加、市民の健康被害		
被害を最小限に低減するための適応策			
市民に対し熱中症予防に関する周知、啓発を行う。			
令和 6 年度の取組み		次年度の課題と目標	
リーフレットの配布、ポスターの掲示等により熱中症予防に関する周知・啓発を行った。		リーフレットの配布、ポスターの掲示等により熱中症予防に関する周知・啓発を行う。	

【予測される影響例】

分野	大項目	小項目		考えられる影響（例）
1 農業・林業・水産業	1 農業	1 水稻		収量・品質の低下
		2 果樹		品質の低下、栽培適地の変化
		3 麦、大豆、飼料作物等		茶の生育障害、一番茶の減収
		4 畜産		肉質の低下、産卵率・卵重の低下、生産性の低下
		5 病害虫・雑草等		害虫の増加・分布拡大、発病率の上昇、害虫・天敵の構成の変化
		6 農業生産基盤		農業用施設災害の増加、用水の不足
	2 林業	1 木材生産（人工林等）		人工林の脆弱性の増加、炭素吸収量の低下、風害の増加
	3 水産業	1 沿岸域・内水面漁場環境等		河川水産資源の流出、魚類の分布域の北上
2 水環境・水資源	1 水環境	1 湖・ダム湖		水質の悪化、下流生態系への悪影響
		2 河川		水温の上昇、土砂生産量の増加、水質の悪化
	2 水資源	1 水供給(地表水)		渇水の深刻化、給水制限、融雪の早期化、農業水需要期の河川流量の減少
3 自然生態系	1 陸域生態系	1 自然林・二次林		分布適域の高緯度・高標高化、生理過程への影響
		2 人工林		水ストレスの増加、脆弱性の増加
		3 野生鳥獣による影響		ニホンジカ・イノシシの分布拡大、食害・剥皮被害の増加、希少野生生物の生育環境への影響
	2 その他	1 生物季節		サクラの開花の早期化、紅葉の長期化
		2 分布・個体群の変動	①在来種	生息可能域の変化、伝統産業・食文化の衰退、生育地の分断化、種の絶滅
			②外来種	驚異の顕在化、外来種の定着・分布拡大
	3 生態系サービス	1 生態系サービス		生態系サービスの劣化
		2 流域の栄養塩・懸濁物質の保持機能等		水質浄化機能の低下、環境リスクの増加
		3 自然生態系と関連するレクリエーション機能等		生物季節の変化に伴う観光業へ影響

【予測される影響例】

分野	大項目	小項目	考えられる影響（例）
4 自然災害・沿岸域	1 河川		大雨による浸水被害の増加、洪水発生率の増加
		2 内水	大雨による浸水被害の増加、水害被害額の倍増、浸水の長期化
	2 山地	1 土砂流・地すべり等	倒木・流木の発生増加、土砂災害の増加、災害の大規模化、治水機能の低下
	3 その他	2 強風等	台風・集中豪雨の増加、台風の強度上昇
5 健康	1 暑熱	1 死亡リスク等	熱ストレス超過による死亡者の増加、心血管疾患による死亡者の増加、高齢者の死亡リスク増加
		2 熱中症等	熱中症搬送者数・死亡者数の増加
	2 感染症	1 水系・食品媒介性感染症	ウイルス流行時期の長期化、感染症発生数の増加、大雨による飲料水源への感染源流入
		2 節足動物媒介感染症	媒介生物の分布拡大・増加
		3 その他の感染症	インフルエンザ等の流行時期の変化、発生リスクの変化
	3 その他	1 脆弱性が高い集団への影響	暑熱によるリスクの増加、院外心停止リスクの増加
6 産業・経済活動	1 産業・経済活動	1 エネルギー供給	電力需要の増加、災害による設備への被害・停電、冷房負荷の増加
	2 観光業	1 レジャー	交通機関の運行停止、観光客の移動への障害
	3 建設業		建設現場での熱中症の増加
	4 その他	1 海外影響	輸入作物の価格高騰、感染症のグローバル化、海外サプライチェーンを有する企業の生産性への影響
7 国民生活・都市生活	1 都市インフラ・ライフライン等	1 水道、交通等	濁水発生、水道施設への障害、鉄道の運休、災害によるインフラ・ライフラインへの影響
	2 文化・歴史などを感じる暮らし	1 生物季節	サクラの開花時期の変化、野生動植物の生物季節の変化
		2 伝統行事・地場産業等	花見可能日数の減少、観光資源への影響
	3 その他	1 暑熱による生活への影響等	熱ストレスの増大、熱中症リスクの増加、睡眠の質の低下、労働生産性の低下、健康被害の増加

京都府地球温暖化対策推進計画 令和5年3月改定

<https://www.pref.kyoto.jp/tikyu/suishinkeikaku2021.html>

気候変動影響評価報告書 詳細 令和2年12月（環境省）

https://www.env.go.jp/earth/earth/tekiou/page_00003.htmlより作成